

令和2年度事業報告

社会福祉法人 上市町社会福祉協議会

少子高齢化に加え、核家族化などの家族形態の変容、生活スタイルの多様化・個別化などにより社会構造が大きく変化しました。これにより、地域では、孤立、ひきこもり、不登校、児童・高齢者虐待、生活困窮など様々な社会問題が顕在化しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域福祉活動が制限される中、感染防止対策を模索してまいりました。

こうした中、当会では地域住民から寄せられる多様な地域生活課題を受け止め、地域住民・団体、サービス事業者、関係機関等と福祉ニーズを共有し、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組みづくりに取り組みました。

I. とともに支え合う「ひと(組織)づくり」

町民一人ひとりが自分にあった方法で、自ら意欲的に、地域活動や支えあい活動に参加できる体制づくりを推進しました。

1. 「住民参加による地域福祉活動の充実」

(1) 気軽な居場所づくりの推進

- ① サロン活動の実施内容検討・開催
- ② 障害者施設とふれあいいきいきサロン交流活動の促進
- ③ 世代間交流事業の実施
- ④ 子どもから高齢者の合同サロンの開催

ふれあいいきいきサロン事業(共同募金助成金事業)(表1参照)

実施地区 上市、音杉、弓庄、相ノ木、柿沢、南加積、白萩西部、白萩南部、大岩地区

実施内容 介護予防教室、健康教室、健康体操、異世代交流、料理講習、ウォーキング
レクリエーション、講話、会食等

令和2年度 40か所、166回、延べ2,566人参加

令和元年度 72か所、258回、延べ7,588人参加

令和2年度ふれあいいきいきサロン開催状況

地区名	参加人数	回数	ヶ所数	実施地区(各町内公民館等)
上市	323	32	6	東町、南町、西町、天神町三区、カミール、河川敷
音杉	996	27	10	音杉、北島、上法音寺、法音寺、横法音寺、大坪、稗田、正印、横法音寺定住促進、稗田定住促進
弓庄	166	13	3	横越、神田、和合
宮川	0	0	0	
相ノ木	70	3	3	放土ヶ瀬、中青出、丸山総合芝生広場
柿沢	86	6	6	柿沢1区、柿沢3区、柿沢4区、館、女川、新屋
南加積	299	33	4	南加積会館、山加積、広野、郷柿沢
白萩西部	162	7	4	白萩西部公民館、堤谷、極楽寺、白萩南部公民館
白萩南部	111	4	1	白萩南部公民館
大岩	350	40	2	大岩、日石寺
白萩東部	3	1	1	中村
合計	2,566	166	40	

(2) 地区社協との連携強化

①地区社協組織の活動支援

地区社協連絡会議の開催

(日程 ・ 主な協議題 ・ 出席人数)

4月 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

6月 15 日 令和元年度地区社協連絡会議活動報告

緊急事態宣言解除に伴う活動再開の注意点について・34 人

8月 31 日 新型コロナウイルス感染拡大に配慮した活動の進め方

おたっしや家・ミニデイサービスの利用 ・34 人

10 月 19 日 子ども食堂について

赤い羽根共同募金のお願い ・ 34 人

12月 21 日 ふれあいいきいきサロンの開催状況について

地区社協助成金について ・ 34 人

2月 15 日 福祉推進員の推薦状況について

令和 2 年度事業報告書及び令和 3 年度事業計画書の提出について ・ 33 人

②福祉課題の地区別把握と解決への取組み支援

③介護予防事業の実施

④福祉推進員の設置 97 人設置

1月 20 日・福祉推進員研修会 午前 26 人、午後 23 人

福祉講演会内容をビデオ撮り放映

⑤命のバトン事業の実施(地域歳末たすけあい募金助成金事業)

各地区社協を中心に、命のバトンを継続設置しています。(バトン内情報シート更新)

⑥地区ごとの計画策定支援

第 3 次地域福祉活動計画策定時で出された地域の福祉課題・生活課題について、地区ごとの計画に基づき取り組みました。

(8地区策定済)

(3) ふれあい・コミュニティ・ケアネット 21 の推進

①高齢者、障害者等の個別支援(ケアネット等)活動の推進

・地域総合福祉推進事業(実施地区: 上市・音杉・弓庄・相ノ木・柿沢・南加積・宮川地区)

(ふれあい型)

実施地区社協を中心に、ア 活動調整連絡会の開催、イ 生活支援事業の実施(ふれあいいきいきサロン、世代間交流、介護予防事業を企画実施。)、ウ 他組織と連携した事業の実施及び人材リストの作成を行いました。

(ケアネット型)

ケアネットチームを編成し、一人ひとりに合った、ケース検討会、サービスプログラムの検討を行い個別の支援活動を行いました。(表3、表4参照)

・地域福祉活動推進ネットワーク促進事業(実施地区: 白萩西部・白萩南部・大岩・白萩東部地区)

実施地区社協を中心に、三世代交流事業・サロン・個別支援活動等を行いました。

②個別支援活動研修会の開催

・「医療・介護・福祉の専門職と地域の協力者との合同研修会」の開催 12 月 21 日

第1部 講義 テーマ : 在宅における感染対策のポイント

講師:かみいち総合病院 看護師長 感染管理認定看護師 藤井里美氏
 第2部 講義 テーマ : コロナに負けない! 今こそみんなで元気な体をつくろう !!
 講師:上市町地域包括支援センター 主任 岩井文子氏

令和2年度地区別ケアネットチーム活動の内容

単位:回 (表3)

	見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	買い物代行	草むしり	除雪	外出付添	児童預かり	児童送迎	薬の受取	その他	合計
上 市	7,024	2,226	158	221	19	141	95	0	0	0	413	10,297
音 杉	3,346	762	236	22	15	27	5	0	3	0	43	4,459
弓 庄	879	106	10	0	3	31	3	0	0	0	7	1,039
宮 川	1,061	634	73	3	4	63	0	0	0	0	123	1,961
相ノ木	1,220	409	123	0	0	39	2	0	1	0	13	1,807
柿 沢	355	657	127	4	7	29	3	0	0	0	49	1,231
南加積	1,114	975	32	8	0	9	79	0	52	0	8	2,277
合 計	14,999	5,769	759	258	48	339	187	0	56	0	656	23,071
元年度	18,419	8,435	791	237	60	24	368	0	20	238	819	29,411

ケアネット対象者の状況(3月31日現在)

単位:人 (表4)

	高齢者	身体障害者	知的障害者	精神障害者	母子・父子世帯	その他	合計
2年度	329	19	7	0	0	1	356
元年度	363	21	4	2	0	2	392

ケアネット地域支援体制の状況 令和2年度 チーム数 184 チーム参加実人数 286 人
 令和元年度 チーム数 192 チーム参加実人数 306 人

2.「ボランティアの養成・支援」

(1)ボランティアセンターの活動強化

- ①ボランティアセンター運営委員会の開催・連絡調整を検討
- ②ボランティア活動相談 360 件
- ③ボランティアセンターへの登録促進 団体登録 51 団体 2,118 人
- ④ボランティア受入れ担当者連絡会の開催
- ⑤ボランティア連絡協議会活動との連携
 ボラ連理事会 3回開催
 2月22日 ボランティア連絡協議会自主研修会
 演題:「コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」
 講師:日本赤十字社富山県支部 藤城優子主任看護師
- ボランティア基金の設置(積立額 2,124,689 円)

(2)生活支援を支えるボランティアの育成

- ①ボランティア養成事業の促進(共同募金助成金事業)
 ・サロンボランティア養成研修会及び施設ボランティア情報交換会
 施設紹介と情報交換 2月26日
 参加者 地域福祉関係者、ボランティア、施設職員・24 人
- レクリエーション用具の貸出
 ボッチャ 1 件、輪投げ 4 件
- ②視覚障害者の外出支援ボランティアのニーズ把握
- ③ボランティアの樹プロジェクト(福祉ふれあいフェスティバルは中止)

8月25日 福祉ふれあいフェスティバル検討会にて決定 社協理事、参加施設担当者等 11人
展示期間 12月8日～12月14日（つるぎふれあい館ロビー）

1月4日～3月31日（ウエルシア薬局かみいち総合病院前）

メッセージ記入1,200枚：小中高生、社協理事・評議員、ボラ連、福祉施設利用者、会館利用者
樹の作成10枚：ティーンボランティアサポーター、ボランティアサポーター、ボランティア20人

④小中高生ボランティアスクールは中止

⑤NPOへの支援と連携

(3) 災害救援ボランティア等の養成

①要支援者の把握

○ 避難行動要支援者の把握

災害時の避難支援を希望する方に登録を呼びかけ、名簿として取りまとめたものを加除。

②災害救援ボランティア研修会 中止

③災害救援ボランティアネットワークの構築

④高齢者、障害者宅の除排雪支援

⑤シェイクアウト訓練の実施

3. 「すべての世代を対象として福祉教育の推進」

(1) 地域における福祉教育の推進

①地域住民の福祉教育の推進

②福祉教育推進委員会の開催 6月9日・学校関係者、PTA、主任児童委員等13人

・新型コロナウイルス感染拡大に伴うボランティア活動について

・ボランティア活動体験作文について

③ボランティア活動オリジナル事業推進校の指定

・町社協が町内の全小中高校をボランティア活動オリジナル事業推進校に指定し、学校ごとに特色ある活動に取り組みました。

④ボランティアサポーターの育成支援(8人)

ボランティアサポーター会議(4回開催)

ボランティアの樹プロジェクト、地区社協活動への協力について協議。ボランティア活動相談、地区社協活動(ふれあいいきいきサロン、ケアネット活動)に協力

⑤ティーンボランティアサポーターの委嘱・(上市高校生・131人)

7月16日・ティーンボランティアサポーター研修会委嘱式、ボランティア基礎研修講義

⑥福祉に関する感想文の募集

応募 小学生の部 12点、中高生の部 1点

作文審査会 10月6日(審査員:学校関係者、福祉施設関係者、福祉関係者等7人)

受賞 金賞1点、銀賞2点、銅賞1点

⑦福祉講演会の開催

1月18日 演題「とやまの歴史文化の魅力と地域発展の仕組みづくり

～コロナ禍における前向きな戦略～」

講師 一般社団法人地域・観光マネジメント代表理事 塚本昌紀氏・57人

II. 安心して暮らせる「地域(環境)づくり」

福祉に関する町民のニーズに的確に対応できるように、福祉サービスの総合的な提供体制の充実を図り、地域で安心して暮らすことができるように、生活環境の整備と思いやり溢れる環境づくりに努めました。

1. 「利用しやすい相談体制づくり」

(1) 小地域で対応できる相談支援体制づくり

役場福祉課、町民課、地域包括支援センター、かみいち総合病院、福祉施設等との連携により解決に向けた取り組みを行いました。

① 相談事業実施機関との連携

② 子育て相談との連携

③ 地域医療連携室、家庭医療センターとの連携

④ 行政・人権相談、消費・生活相談との連携

(2) 困りごと・孤立等を防ぐ相談

(表5)

相談の種類	相談員	開設日	相談件数	備考
一般相談	社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員	平日 8:30～17:15	420 件	福祉サービス利用、生活、介護等
心配ごと相談	民生児童委員・中部厚生センター相談員	毎月第3水曜日 13:00～15:00	5 件	生活問題、経済的・心理的問題等
法律相談 (予約制)	弁護士	第2火曜日 9:00～11:00	47 件	土地・相続・扶養金銭貸借・賠償問題等
生活福祉資金貸付 相談	社会福祉士	平日 8:30～17:15	21 件	低所得、障害者、高齢者世帯等への貸付
コロナ特例貸付	社会福祉士	平日 8:30～17:15	106 件	新型コロナの影響により生活が困窮
結婚相談	結婚相談員 (相談員5人)	第2、第4火曜日 13:00～16:00	185 件 成立 8 件	結 婚
生活就労相談	東部生活自立支援センター相談員	毎月第2または 第3火曜日 10:00～11:30	相談者 37 人	健康、就労・定着支援、対人、家族関係、家計改善、債務、コロナ特例貸付等

○生活福祉資金の貸付 富山県社協より借受人口座へ直接送金

本則生活福祉資金貸付状況

・新規貸付 0 件 貸付中件数 7 件 償還金残高 1,127,588 円

コロナ特例貸付決定状況

・緊急小口資金	上限 20 万円	68 件	12,800,000 円
・総合支援資金	上限 20 万円×3か月(60 万円)	25 件	9,975,000 円
・総合支援資金(延長)	上限 20 万円×3か月(60 万円)	9 件	3,630,000 円
・総合支援資金(再貸付)	上限 20 万円×3か月(60 万円)	4 件	1,350,000 円

○生活困窮者自立支援事業の実施

生活就労相談、支援調整会議 各月1回 (富山県東部生活自立支援センターとの連携)

令和2年度新規相談受付け 37 人

2. 「住み慣れた地域で誰もが安心して生活するための福祉サービスの提供」

(1) 住民の強みを生かした自立支援の取組み

① 居宅介護支援事業の実施

ご本人、ご家族の思いを尊重し住み慣れた地域で自立した生活が出来るよう、介護支援専門員(専任 3 人)がケアプランを作成した。

居宅介護支援計画作成者数及び介護給付費(ケアプラン作成)

(表6)

		居宅介護支援		介護予防・日常生活支援総合事業	
		利用者数(人)	介護給付費(円)	利用者数(人)	受託料(円)
令和2年度	年間合計	1, 235	14, 318, 330	53	212, 880
	月平均	102. 9	1, 193, 194	4. 4	17, 740
令和元年度	年間合計	1, 229	14, 484, 970	39	170, 910
	月平均	102. 4	1, 207, 080	3. 2	14, 242

② 訪問介護事業の実施

ホームヘルパー11人(常勤7人非常勤4人)により訪問介護活動を実施。資質向上に努めるとともに、法人本体事業の特性を活かし、介護サービスを通して地域とのつながりに努め、各関係機関と連携を密にしました。

○介護保険事業の実施

訪問介護事業の実施:要介護1～5の利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助を提供しました。

介護予防・日常生活支援総合事業の実施:要支援1・2事業対象者の利用者宅を訪問し、利用者と一緒に家事を行い、自立をした生活ができるよう支援しました。

○障害福祉サービス事業の実施

障害者への居宅介護サービスを提供。職員の資質向上に努め、良質で安定した居宅介護を行いました。

③ 生活支援事業の実施

公的サービスでは対応することのできない多様なニーズに対応し、ホームヘルパーを派遣した。

訪問介護の年間利用実績(延べ人数)

単位:人 (表7)

	居宅介護	介護予防・日常生活支援総合事業	障害福祉サービス	生活支援事業
令和2年度	501	335	75	119
令和元年度	457	313	110	149

④生きがいデイサービス(おたっしや家・ミニデイサービス)事業の実施 (表8参照)

⑤配食サービス事業の実施 (表8参照)

(表8)

実施事業名	実施事業内容	利用者数等
④生きがいデイサービス室管理事業		
おたっしや家 (町指定管理事業)	毎週月～金曜日 5日実施 健康チェック、介護予防、レクリエーション、小学生との交流等	65歳以上の高齢者 延べ 2,421 人
ミニデイサービス事業 (町委託事業)	毎週木曜日 健康チェック、介護予防、入浴等	65歳以上の高齢者 延べ 392 人
⑤配食サービス事業 (町委託事業)	月 2 回、民生委員・ボランティア・食改等の協力により、配食・見守り等	ひとり暮らし高齢者等 延べ 96 人

利用者の内訳

単位:人 (表9)

年度		生きがいデイサービス室管理事業 730 円				ミニデイサービス事業 835 円			
		開所日数	男	女	計	開所日数	男	女	計
令和2年度	合計	205	385	2,036	2,421	38	0	392	392
	1日平均		1.8	9.9	11.8		0	10.3	10.3
令和元年度	合計	216	321	2,359	2,680	45	0	1,037	1,037
	1日平均		1.5	10.9	12.4		0	23.0	23.0

(2) 児童・子育て支援

- ①ファミリーサポートセンターのニーズ把握と開設準備を支援(学童含む)
- ②放課後児童対策事業(こどもの城、放課後児童クラブ、学校)との連携支援
- ③子育てサロンの開設支援
- ④安全パトロール隊による登下校の見守り活動との連携
- ⑤子ども 110 番見守りとの連携

(3) 買い物や移動支援への取組みの実施

- ①外出支援に関する取組み
 - ②ケアネット活動による買い物代行支援・258件
 - ③注文販売に関する取組み
- 高齢者支え合い買い物支援事業（白萩南部地区）
毎週火曜日午後実施（45回 延べ208人利用）
- ④行動援護事業の実施検討

3. 「地域福祉を推進するためのネットワークの強化」

(1) 専門職との連携

①福祉専門職及び専門機関による連携強化

地域ケア会議と連携
町認知症高齢者等見守りネットワーク会議と連携
「上市町高齢者虐待防止ネットワーク事業」と連携
滑川・中新川障害者自立支援協議会との連携
地域精神保健福祉推進協議会との連携
地域生活福祉・就労支援協議会との連携

(2) 障害者との共生ネットワーク

①障害者福祉関係者連絡会の開催

②障害者の生きがい事業の支援

- ・障害者とのふれあい事業
・障害者の生きがいづくり事業（共同募金助成金事業） NPO法人ワークハウス劔
・おもちゃの図書館事業（本館—上市児童館・分館—相ノ木こどもふれあい館内）
おもちゃ 6点（おもちゃの図書館全国連絡会より寄贈）

③日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方が、権利を侵害されることなく、安心して生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を実施。

- ・相談支援件数 823 件
- ・福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス 契約件数 14 件(令和 2 年度事業利用者数)
利用者内訳 (認知症高齢者等 6 人、知的障害者等 2 人、精神障害者等 7 人)
(生活保護受給者 1 人、非課税者 11 人、課税者 2 人)
- ・書類等預かりサービス 契約件数 8 件
- ・生活支援員の設置 14 人

(3) 社会福祉協議会活動基盤強化

①社会福祉大会や広報誌の発行、ホームページの充実による社協活動周知の徹底

○上市町社会福祉功労者表彰式の開催

6月23日 大会実行委員会・12人

7月13日 表彰11人

上市町社協会長表彰（敬称略）

民生委員・児童委員の部 相川節子、中川節子、中田眞法

社会福祉事業協助者の部 山本逸子、土肥正彦、柳瀬正俊、高橋多美枝、高田幸子、林田篤子

上市町善意銀行理事長感謝状

篤志寄付者の部 柴田昭、平井和恵

○広報誌の発行（共同募金助成金事業）

広報誌“上市ふくしNOW”を発行し情報を発信 7月・9月・1月・2月・3月

全戸配布（7,902世帯 令和2年4月現在）

○町社協ホームページでの福祉情報の提供 <https://www.kamiichi-hearty.jp/>

②理事会・評議員会の活性化

監査 5月27日

理事会 6月8日・8人、12月7日・8人、3月22日・6人

定時評議員会 6月23日・7人

評議員会 12月7日・8人、3月22日・7人

評議員選任解任委員会 5月18日・5人書面表決

③研修会の参加及び資格取得の促進

社会福祉士 4人

介護福祉士 15人

看護師 1人

介護支援専門員 3人

ホームヘルパー2級 3人

④包括的支援体制整備モデル事業の実施

地域共生社会を目指すため、「公的支援の『縦割り』から『丸ごと』への転換」、「我が事」・『丸ごと』の地域づくりを進めるための取り組みを富山県社協の支援の下実施。

【セミナー】

期日 令和2年9月9日（水）

会場 上市町保健福祉総合センター2階研修室

講義 「地域共生社会実現のための包括的支援体制づくりと地域福祉計画策定」

講師 富山県福祉カレッジ学長 富山県福祉推進顧問 NPO法人日本地域福祉研究所理事長

大橋 謙策 氏

参加者 上市町役場（福祉課・地域包括支援センター・財務課・町民課・建設課・教育委員会）、中新川広域

行政事務組合介護保険課、上市町社会福祉法人連絡会（新川会、毅行福祉会、むつみの里）

町社協役職員（事務局、ホームヘルパー、ケアマネ、生きがいデイサービス）ほか 計39人

【シンポジウム】

期日 令和3年2月18日（木）

会場 上市町保健福祉総合センター2階研修室

基調講演 「包括的支援体制と重層的支援体制づくりの考え方、進め方」

講師 富山県福祉カレッジ学長 富山県福祉推進顧問 NPO法人日本地域福祉研究所理事長

大橋 謙策 氏

パネルディスカッション

コーディネーター

大橋 謙策 氏

シンポジスト

「津幡町地域包括支援センターの取組み～社協とともに歩む地域包括ケア」

石川県津幡町町民福祉部福祉課課長補佐・地域包括支援センター相談支援係長 木谷 昌子 氏
(大雪のため来所できず、資料を提供いただく)

「氷見市における包括的支援体制構築の取組み」

社会福祉法人氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二氏

「くろベネット事業を通して見えてきたこと」

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会地域福祉課主幹 濱松一美氏

参加者 上市町役場(総務課・町民課・建設課・福祉課・地域包括支援センター)、かみいち総合病院地域医療連携室、中新川広域行政事務組合介護保険課、上市町社会福祉法人連絡会(新川会)、町社協役職員、中部厚生センターほか 計 34 人

⑤地域福祉活動への参画促進

・職員リーダーミーティングを12回開催し事業運営について協議

・職員研修委員会の立ち上げ及び開催 (職員研修実施内容を協議)

開催日 7/13、8/12、9/14、10/14、11/11、12/9、1/20、2/10、3/10

・職員研修会開催 (毎回同内容で2回開催し全員参加)

【事例検討会】

開催日 第1回 8/5、第2回 9/16、第3回 12/17、第5回 3/3

ファシリテーター 富山県社会福祉協議会地域福祉部長 古野智成氏

参加者 社会福祉士・看護師・介護支援専門員・精神保健福祉士・保健師・外国人ワンストップセンター・教育センター職員・行政職員

開催日 第4回 1/15、

ファシリテーター 愛知県半田市社会福祉協議会事務局次長 前山憲一氏

参加者 社会福祉士、看護師・介護支援専門員、介護福祉士・精神保健福祉士・保健師、保育士、教育センター職員、行政職員など

【伝達研修】 第1回 10/15、10/19、第2回 11/16、11/19 第3回 2/8

⑥福祉サービス苦情相談解決窓口の設置

⑦第三者委員会

福祉サービス苦情相談解決窓口の設置及び苦情の受付、対応について助言 (苦情 5件)

1月23日 第三者委員会の開催・第三者委員3人 事務局等10人

⑧上市町社会福祉法人連絡会の活動 (町内で福祉施設・事業所を運営する11法人)

包括的支援体制モデル事業セミナー、シンポジウムへの参加